

# 特別養護老人ホーム 「愛の園」だより

第5号

創立1周年  
記念号

1994/8

発行所 (社)ぶどうの枝福祉会 特別養護老人ホーム『愛の園』 〒654-01 神戸市須磨区妙法寺字野路山1053  
 発行者 齊藤溢子 編集者 齊藤信男 印刷所 オールプリント 発行部数 3,000部 発行年月日 1994年8月5日



一周年を迎えた愛の園の大家族です

## 神のいつくしみの中で

牧師 齊藤 信男

「わたしは世々かぎりなく

神のいつくしみを頼む」(詩篇52・8)

特別養護老人ホーム・愛の園がスタートして丸一年、皆様方の愛の御支援とお祈りに支えられて、神様の祝福のうちに、きょうまで守られましたことを心から感謝申し上げます。

入居の皆さんも、ショートステイの皆さんも、デイサービスの皆さんも、毎日和やかに生活していただいております。

「愛の園は明るくて、楽しくて、景色がよくて、園内にはきれいなお花がいっぱいいて、食事がおいしくて、職員がやさしく親切で…等」いろいろとお褒めの言葉を頂きます。私達にとって本当にうれいお言葉でございます。

でも凡てが順調で、のどかな春であったわけではございません。難かしい困難な問題もいっぱいありました。でもその都度、神様は不思議なように「助け手」を送って下さり、困難を乗り越えさせて下さいました。

特別養護老人ホームの職員達の仕事は楽な仕事ではございません。むしろきつい仕事といった方がよろしいでしょう。でも職員達は自分のおじいちゃんやおばあちゃんに仕えるように、やさしく親切にいつも明るく、楽しそうに働いてくれております。お年寄りの皆さんからも、又御家族の皆さんからも、大変喜んでいただいております。当園は良い職員に恵まれ本当に感謝でございます。愛の園も二年目に入りました。職員一同、ますます頑張つて、これこそ愛の園であるといわれるよう、更に良い園を目指して前進していきたいと願っております。



クリスマス

「ゆりか保育園」のかわいいお友だちが、聖誕劇をして、お年寄りを喜ばせてくれました。

愛の園は、神の愛を伝えると共に、愛を実践する為につくられた老人ホームであり、神の祝福のうちに今日まで経営されて来ました。毎日持たれる礼拝はすばらしく、神に喜ばれていることと思えます。このホームは、美しい花笑、鳥唄うという自然環境に恵まれた場所に建設された立派なホームですが、それと共に、神を中心として経営され、園長はじめ職員の方々が信仰と祈りをもって一体となり奉仕されていて、益々祝福されることを信じます。老後をこの愛の園で迎えられる方々は、誠に恵まれていらっしゃると思えます。聖書に、「あなたがたは世の光である。」(マタイ五章十四節)と書かれています。この老人ホームが地域に対して世の光であると共に、日本にある多くの老人ホームの中にあっても、世の光として模範となつて下さることを祈るものであります。

愛の園と神の祝福

愛の園を支える会会長 持田 哲弥



愛の園の1年



— 主の御愛と皆様のお祈りとお支えによって、無事に1周年を迎えました —

深いご愛と、尊いご献金をもってお支え下さる皆様、ありがとうございます。愛の園は満一才を迎え、五月十一日、ささやかな感謝の集いを持たせて頂きました。内々で入居者と職員、外からは何人かの支える会の役員とご家族が参加して花をそえて下さいました。

第一部の感謝礼拝は、愛の園の愛唱歌となつている「こも神のみ国なれば」の讃美歌ではじまり、この一年豊かな恵みの中に守り導いて下さった神様に感謝の祈りが捧げられ、お祝いの言葉も挨拶も感謝の一語に頂きました。試行錯誤しながらの一年を振り返り、感激で涙がこぼれ、胸がいっぱいになりました。

第二部はみのり保育園の保母の新免さんの腹話術、可愛いお人形のキョンちゃんとの対話にお腹をかかえて大笑い、大ホールいっぱいに並べられたテーブルには、厨房の職員の心のこもったお馳走が並び、百人を超す大家族の楽しいお食事会で時の経つのを忘れる程でした。

園長 斉藤 溢子



1周年感謝のついで挨拶する斉藤園長

ひな祭り

いくつになっても、少女の気持ちを忘れずに。いつまでも、お健やかにと祈ります。



\*わが部屋の窓より見える つつじかな 伊藤 貞子

\*愛の園 鳥啼き 花咲き 友あひて たのしくひとせすぞしげの村 村上 愛子

\*身のどこか ほとけて来さぬ 丘の辺を 寮母と歩く 日の中を行く

\*九十八歳 健やかに老いて清々し 笑顔で生きて 感謝で生きて 橋本 貞子



ボランティアによる腹話術

この一年の歩みは、私達にとつてはじめての経験の積み重ねで、思い出深い愛の園の歴史の一頁でございました。毎日開かれる礼拝が一日も欠かさず続けることができたのも、ご協力の賜物でありました。私達の心に深く残っておりますことは、天国にお送りした鈴木玉子さんのお姿でした。ご本人とご家族は、延命措置はしない御意志で本園としても精一杯のことをさせて頂いていただくべく協力体制をとり、職員一同よく尽くしてくれました。私もお手を取りながら「主よみもとに近づかん」の讃美歌をくりかえし歌いながら祈り、おそばにつかせていただきました。

看護婦や寮母が代わる代わる声をかけ、背中や足をさする度に、苦しさや不安を訴えることもなく、両手を合わせて感謝を表わされました。平安のうちに静かに天国に凱旋していかれました。

正に愛の園は天国の門であると強く感じました。益々の高齢化の時代に愛の園が使命を果たす歩みを進めることができるようお祈り下さいませ。

理想郷の「愛の園」

- ① 陽の出は早い 五月空  
野路のそよ風 さわやかに  
須磨の山なみ 若葉萌え  
永久に幸あり 愛の園
- ② 団樂待ちの 大広間  
老いて耐えゆく 生き甲斐に  
心和むは 賛美歌の  
主は見守る 愛の園
- ③ 特養暮らし 藹藹の  
因縁深い ふれ合いを  
平和に過ごす 理想郷  
神の恵みの 愛の園

堺 寛一



桜の木の下で楽しい春のひとときを過ごしました



楽しいお食事会



感謝の集いの出席者

# 日々、感謝しつつ



## デイサービスを利用して

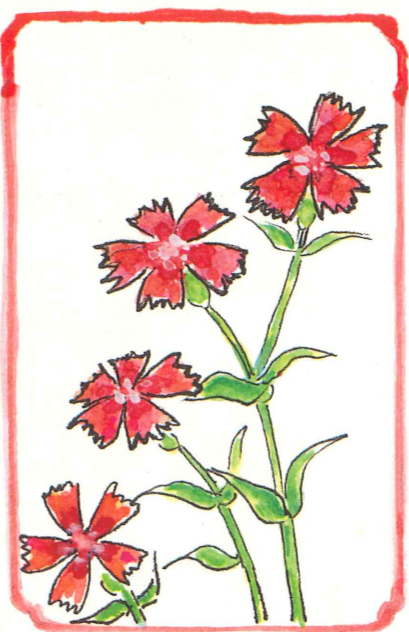
梅谷 ユキ子

「愛の園」—私には何と響きの良い言葉でしょう。お世話になって六月で一年。週一回通園のこの一年を振り返ってみると、毎週毎週が充実した一日であったと思います。

園長先生のお話は、いつも心に感じ入っております。又、体操も楽しみの一つです。

毎月のカレンダー作り、クリスマスの飾り物、ブローチなどを作ったことは、思い出深いものとして大切にしています。又、ショッピング、お花見などに連れて行って頂いたことも楽しい思い出の一頁になりました。

スタッフの皆様のご親切は、何時も心から感謝致しております。これからも、一日でも多く出席致したく、病気をしないよう「ガンバリ」ます。



## わが恵み 汝に足れり

好本 千代乃

神様が道を開いて下さり、「愛の園」へ入れていただきましたのは、昨年七月でした。それから、やがて十か月になりますが、こんなに毎日喜び、感謝の日々を過ごしたことは、今までの喜びにもまさる大きな大きな喜びです。すべては神様のお恵みであると感謝いたしております。

毎日「愛の園」では礼拝がありまして、日曜日には牧師先生のメッセージをお聞きすることができ、そして、一同で讃美をささげることができることは、何と大きな喜びでしょうか。

また、めいめいのお誕生のお祝いをしていただいたり、夏は楽しい納涼の夕べを開いてくださり、クリスマスには、まだまだ普通の家ではできないような、すばらしい祝宴をしていただき、いつまでもいつまでも、楽しい思い出が心に残っております。

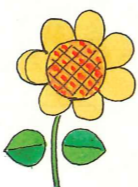
職員の皆様もとても親切で、めいめいによくお世話してくださるので、本当にもったいないことだと思えます。こちらへ入れていただいたから「光陰矢の如し」で、あっという間に今日まで過ぎてしまいました。思い出しても嬉しいことばかりでした。

こんな弱い者をもあわれんで下さる、神様の恵みをまわりの方々に少しでも、分けてあげたいと念願しております。

「我恵み、汝に足れり」とのみことばがいつも心に溢れて、ただ感謝にみだされております。五年前に入信した主人も時々、東京から来て、「よかった。よかった。」と言ってくれております。この愛の園の上に、いよいよ豊かな主の御祝福をお祈り申し上げます。

また、愛の園の支援者の方々の上にも、豊かな御祝福をお祈り申し上げます。

## 職員の声



### 大家族の一員として

武田 洋子

「おはようございます。」私の仕事は、この挨拶から始まります。

時がたつのは早いもので、「愛の園」がオープンし、一年が経過しました。若い寮母が多い中、主任寮母を中心に試行錯誤しながら、本当にあわただしい毎日を送ってきた一年でした。

楽しい事、辛い事がたくさんありました。又、いろいろの失敗もしてきました。しかし、その時、手を差し伸べて、フォローしてくれたのは、同年代の寮母さんたちです。年齢が近いだけに、相談もしやすく、話し合いもスムーズに行われます。その個性豊かな若手寮母をまとめ、進行の舵をとってくれているのが主任寮母です。

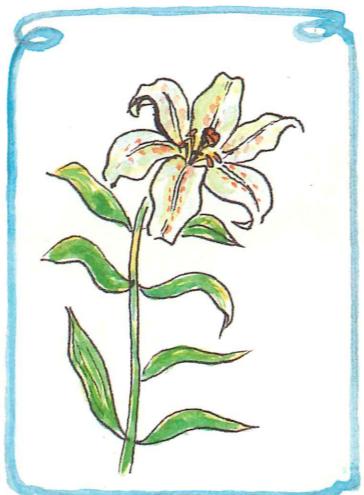
私は、この「愛の園」で働きながら、「本当に良い仲間」に恵まれているな。」と日々思います。寮母間の仲が悪ければ、入園者の方々にも良い処遇ができません。

「まとまりのある寮母。」—この長所を生かしながら、これからも試行錯誤しつつ、園長の方針の「大家族」を目指し、入園者の方々に喜んで頂ける処遇を提供できるように頑張っていきたいと思えます。



### 厨房で働いて

鍛田 リエ



厨房で働いて、もう一年と数ヶ月になりました。栄養専門学校を卒業し、この「愛の園」に就職して栄養士の先輩の方がいなかったもので、いろんな方々に助けられて、栄養士三人が協力しながら、ここまですべてやることができました。まだまだ未熟ですが、一つ一つ頑張っただけでいいと思います。

お年寄の嗜好は結構まばらで、和風ばかりでなく、なかにはステーキが好きな人がおられたり、スパゲティがお好きな人など様々です。お年寄の大半は、「おすしが好き」と答えられます。月に二度は、おすしを取り入れていきます。その反対に、麺類が嫌いだったり、鶏肉が食べられない人などと好き嫌いも多いのです。その人たちのために、雑炊にしたり、魚に変えたりもしています。

厨房で働いていていちばん嬉しい事はやはり、入居の方々が、「今日の料理おいしかったよ。ありがとうな。」と言ってくれて下さることです。

入居の方には、直接かかわらない仕事ですが、キヌサヤの筋をむいたり、サヤから豆を取り出すのを手伝ってもらったりして頂いて助かっています。

これからも栄養のバランスを考え、喜ばれるような献立をたて、調理の方もおいしく思ってもらえるような料理を作っていきたいと思えます。

## 私のよろこび

青森 なを



「愛の園」に入居して一年が経過しました。何時も園内は明るく、その日の当番の寮母さんと、お友達を交えての語らいの時を持つことはとても楽しいことです。

各々、何十年前も前に、家庭を持ち子育てを終えたその昔の主婦が多く、話の内容が一つになった時など、眼をうるませて語り、或る人は、「まったくよ！」と相槌を打ったりしています。

寮母さんの中には男性も居られ、真面目な方、笑みをたたえた方、時折ひょうきんに人真似を上手にする方など、個性豊かな方々がおられ、おもわず笑いの世界へ誘われます。

多くの寮母さんたちにはいつもお世話になり、明るく声をかけていただくその優しさにいつも心から感謝しています。

「愛の園」は、キリスト教の信仰を土台にしていることが、私にとっては大きな魅力であり、恵みであり、喜びです。

## 全人的人間看護を

### 目ざして

柳井 トメ代

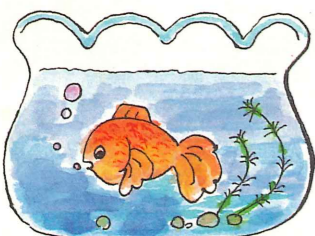
「愛の園」で働き始めて三か月が過ぎようとしています。七年のブランクに不安も多いのですが、先輩の方々のお励ましに支えられる毎日です。

私は、看護学校卒業後三年間、病院勤務をしましたが、若さ故か、仕事の厳しさについていけず、又他者のケアをするにはあまりの未熟さに限界を感じ、聖書の学びと自己成長のために、聖書学院に学びました。やがて、教会の伝道師として数年をすごしましたが、その中で神から与えられた看護婦というタラントを地の中に隠していることに気づき、再び看護婦として働きたいと思うようになりました。その頃、知人の紹介で「愛の園」と出会うことになったのです。

ここでの働きは、一般病院とは異なり、医療先行というより、人間看護、心のケアの必要性が高いのかも知れません。それ故に、深い人間理解と洞察力が求められると思います。いろんな面で未熟な者ですが、今までの学びや出会いを生かして、私自身も成長できるような働きがきたらと願っています。

「愛の園」で働いて一番印象に残っていることは、入居者も職員も会話の中で「ありがとう」ということばがよく使われていることです。私はあまり使わないのでハッとしました。老いてなお謙虚に生きておられるお年寄り、ケアする側であるという思いをこえて、感謝して働いておられる職員の方々にさわやかな感動を覚えました。

私も折にふれ、感謝の言葉を伝えたいと思っています。



# ◆ 職員紹介 (1)

## デイ・サービス



古谷 信人

送迎バスの運転手をしています。気は優しく力持ちとはまさしく彼のこと。利用者の皆様からも厚い信頼を寄せられています。(運転手)



植松 恵美子

彼女の笑顔とユニークなおしゃべりは、まわりを明るくしてくれます。デイ・サービスチームをひっぱりリーダーです。(指導員)



清原 真由美

キューピーさんのような可愛い笑顔とおっとりした口調でお年寄りに接する態度は、彼女の素晴らしいさだと思います。(寮母)



立松 喜代美

竹を割ったような性格とはまさはこの人のこと。看護婦の立場から色々な指導してくれます。また、寮母としても頑張っています。(看護婦・寮母)



矢野 寛子

主に卓上レクリエーションの手作業を指導しています。芸術家肌の彼女は、その才能を生かして、大いに活躍しています。(寮母)



山下 和子

ダイナミックな笑いと機敏な行動は、周りに活気を与えています。デイの職員もそのパワーに頼っています。(寮母)



藤原 君子

4月に職員になったばかり、仕事に慣れようと奮闘の日々です。彼女の落ちついた性格は高齢者のケアに適しているのでは！(寮母)



江福 謙一

5月から愛の園のチャプレンとデイ・サービスの介助をしています。色々な方々の心のケアをめざしています。

### 〈献金報告〉

(平成5年7月1日～平成6年3月31日)

寄付 八、〇六〇、九二二円

会費 二、五九一、〇〇〇円



### 「愛の園」を支える会

入会申込・御寄付・御献金の送り先

住所 〒657

神戸市灘区神ノ木通二一三九

神戸ホーリネス教会内

電話 〇七八(八七二)〇一三二

郵便振替番号 〇一一八〇一〇一五二一三一

郵便振替加入者名

社会福祉法人 ぶどうの枝福祉会

銀行振込番号 さくら銀行 六甲支店

普通 三〇九一三六四六六七二

特別養護老人ホーム

「愛の園」を支える会 会長 持田哲弥

一応、郵便振替用紙を同封させていただいておりますので、必要な方はご利用下さい。

# ◆ 職員紹介 (2)



**前田 勝信**

人あたりが柔らかく、お年寄りにも人気があります。何事にも慎重な性格は、経理マンに最適です。(事務)



**堤 いつ子**

毎日事務室の窓から「ごころ様でした。」と優しい声をかける「玄関の顔」と言っってよい存在です。(事務)



**柴尾 亨**

開園準備の時点から携わってきた。園では若い職員のお父さん？ 役。家庭では2児のよきパパです。(指導員)



**古賀 剛**

栄養士の中の黒一点。スリムな身体ですが、お年寄りに喜ばれる料理づくりにファイトをまやしています。



**厨房主任 南野 文代**

若い栄養士を支える厨房主任。おだやかな笑顔、やわらかな物腰。しかし、仕事に関しては厳しい調理師です。



**柳井 トメ代**

山口で生まれ岡山の山口で生まれ岡山で学び、鳥取で伝道。この4月、愛の園に着任。明るい笑い声、素敵な笑顔が売り物。(看護婦)



**看護主任 箆島 里子**

職務経験25年のベテラン看護婦。主婦として、母としての経験も豊富。入居の方の健康管理はお任せあれ。



**西井 康子**

10か月のパート勤務を経て、4月から職員に。主婦としての持ち味を生かしつつ、料理作りに励んでいます。



**福田 忠男**

調理師歴20年のベテランです。口数は少ないが、趣味のカラオケのマイクは、中々離さないとの評判です。



**川口 早苗**

レモンのようにさっぱりしたお嬢さん。入園者の健康を支える栄養士さんとして、頑張っています。



**鍛田 リエ**

神戸生れの神戸育ち。おっとりとした優しい性格です。趣味もお料理という彼女の今後の活躍に期待します。



**相沢 尚**

清掃・洗濯・お花の世話など、陰の部分で愛の園を支えています。一人娘の成長が何よりの楽しみようです。



**原岡 一雄**

美しい愛の園を保つ陰の力として、日々頑張っています。



**多々納美由紀**

島根県の高校を卒業後、大阪の栄養専門学校で学び、この春より勤務。若い彼女ですが、何事にもまけない強さを持っています。